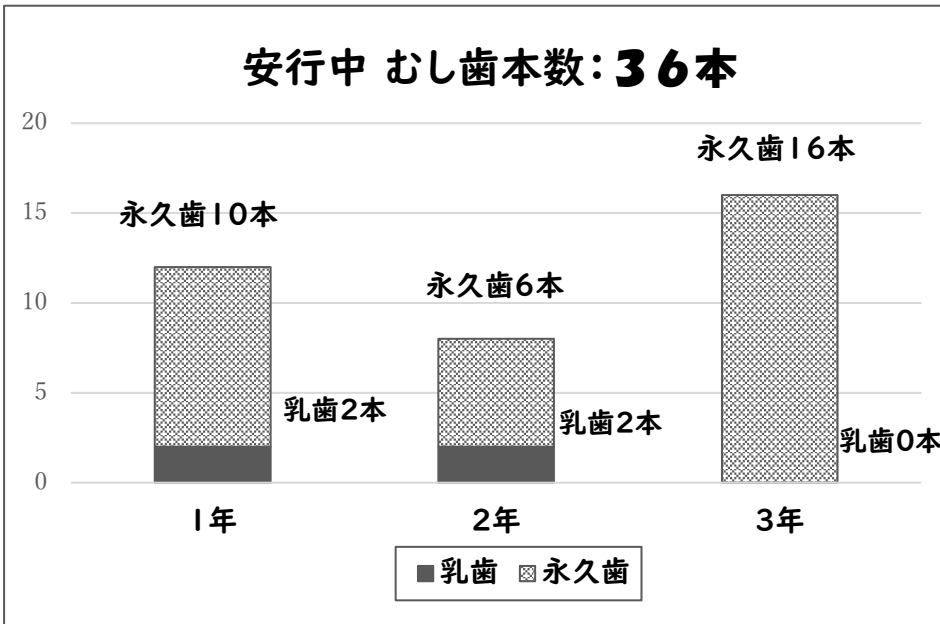
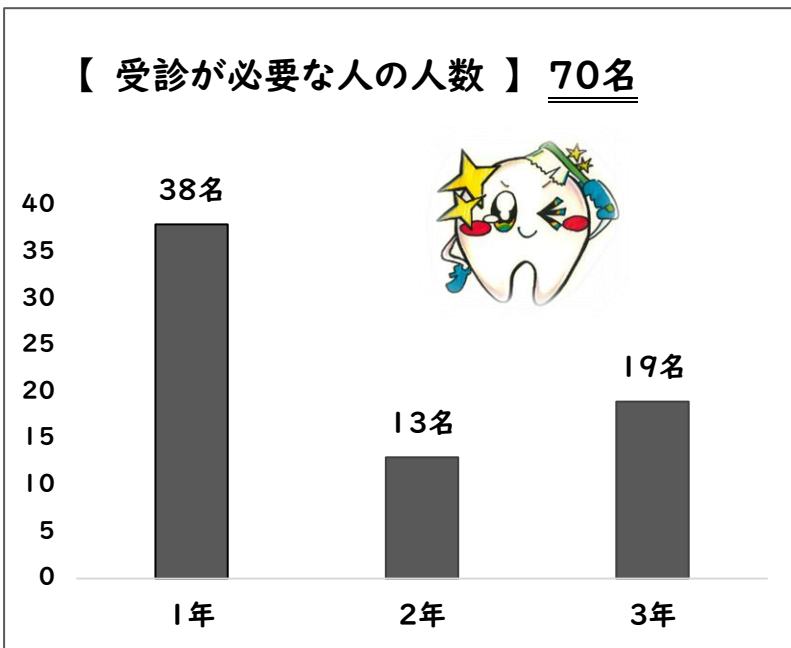
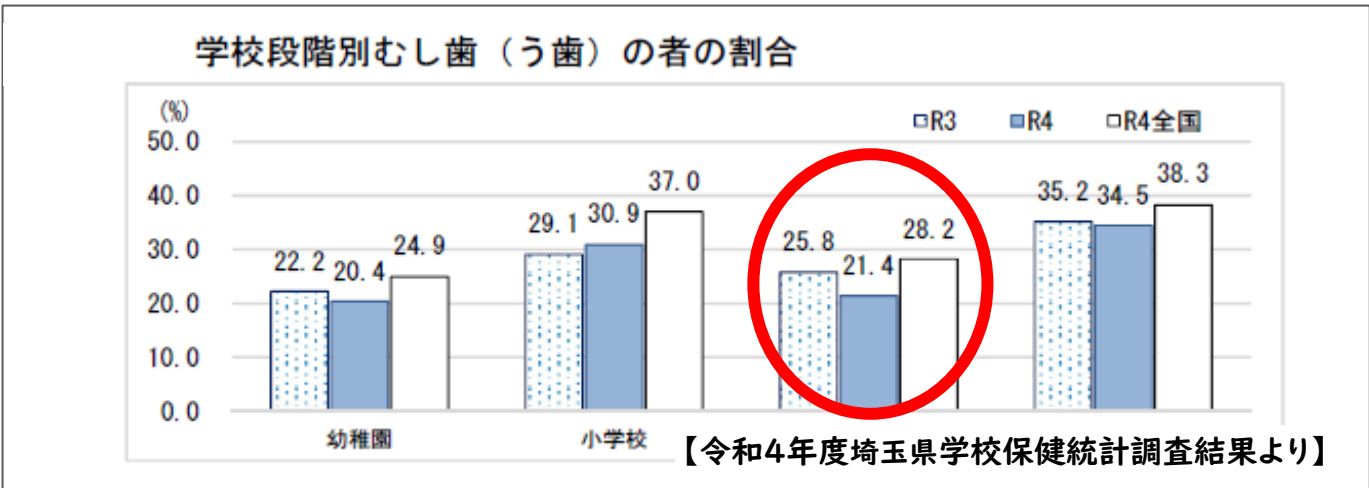


令和6年度 歯科健診結果

《 春の歯科健診結果 》

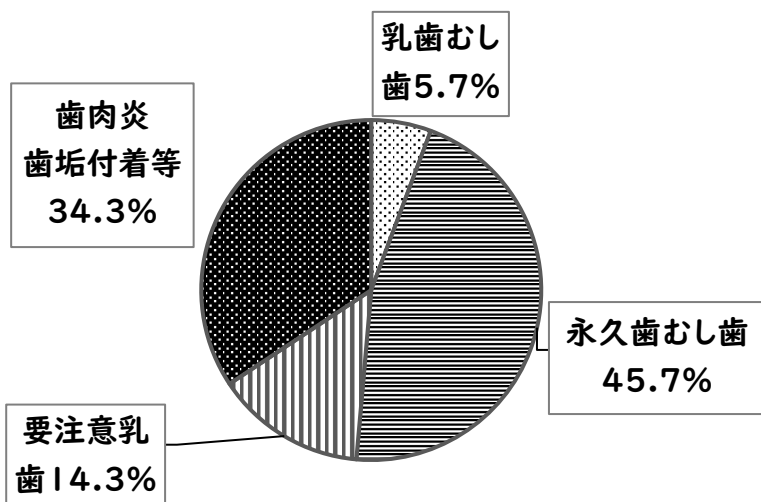


安行中のむし歯(乳歯・永久歯)の保有者の割合は、**5.2%**(昨年度5.1%)でした。(※検査人数690名、むし歯保有者36名)
 令和4年度の埼玉県学校保健統計調査(下記参照)では、むし歯の保有者の割合は、中学校は**21.4%**、全国学校保健統計では**28.2%**となっており、このことから安行中生徒のむし歯の割合が低いことがわかります。



《検査人数 690名》
 受診が必要な人は、70名で、全体の**10.1%**(昨年度9.4%)でした。昨年度より若干増加しましたが、とても素晴らしい結果です。
 ※受診が必要な生徒とは、むし歯、要注意乳歯がある児童、また顎関節、歯列、歯垢、歯肉の状態が「2」の生徒です。
 ※「2」の状態とは、より専門的な診査が必要な場合です。

【 要受診の内訳 】

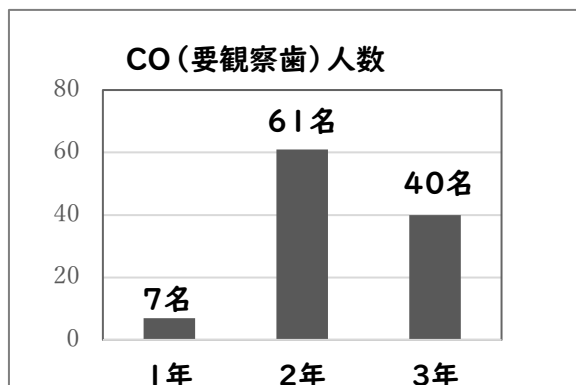


要受診の内訳ですが、乳歯・永久歯のむし歯で全体の51.4%を占めています。その次に歯肉炎・歯垢付着等が34.3%、要注意乳歯が14.3%となっています。

昨年度、乳歯・永久歯のむし歯は53%だったので、むし歯は減少しました。しかし、歯肉炎・歯垢付着などは21%でしたが、今年度は34.3%と増加しました。今後、やはり歯肉炎や歯垢付着の指導を更に強化することが必要です。

～CO(要観察歯)について～

歯科健診の結果を見ると、CO(要観察歯)が多いことも気になるところです。COは、「むし歯によって生じた穴などはないが、褐色や黒色、白く濁ったところがある」、「歯の内部まで深く入り込んでいない初期のむし歯」と言われています。むし歯へと悪化しないように、進行を止めることが必要です。ていねいな歯みがきはもちろんですが、定期的に歯科医へ受診することがとても重要です。



～保健室から～

歯科学校保健委員会の開催は、今年で3年目になります。学校・家庭・学校医・学校歯科医・学校薬剤師・地域と連携し、歯・口の健康課題解決のために、どのような実践活動が必要なのか、考え・協議する大変意義のある場となっています。今年度は、「歯・口からはじめる健康づくり～習慣の形成と心の健康づくりを目指して～」をテーマに学校歯科医の田上浩三先生、新郷学校給食センター栄養士の高治由梨香先生に講話をいただきます。春の歯科健診の結果の発表の他、保健委員会では「歯・口の健康と食習慣、生活習慣、心の健康」や「災害時の口腔ケア」について、グループ学習を行い、意見交換や協議をしまとめ、発表を行います。開かれた学校づくりの推進につながるよう、また充実した学校保健委員会になるよう、今後も引き続き様々な学校保健活動を行っていきたいと思っております。

ご家庭のご協力もあり、おかげ様で令和5年度埼玉県学校歯科保健コンクールにおいて「最優秀校」に選ばれました。(令和4年度は「優秀校」に選ばれております)また、今年度は全日本学校歯科保健優良校表彰の候補として埼玉県の推薦校に選ばれております。安行中の歯科健診の結果や歯科保健活動の取組(田上先生による歯科保健授業や歯みがき教室等)、またご家庭での歯科に関する意識の高さが評価されたものだと思います。本当にありがとうございました。今年度も引き続き、更なる「歯科保健の充実」を目指し、生徒保健委員会を中心に歯科保健の強化に取り組んでいきたいと思っております。

「歯は全身の健康の原点」とも言われています。歯が健康だと、体も心も元気でいられます。毎日、「上手な歯みがき」を心掛け、安行中の全校生徒が健康な歯でいられるよう、今後ご協力をお願いいたします。